

品質で選べば
朝日フェンス

朝日FMフェンス



WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

<https://www.asahi-fence.co.jp>



F
M



FM-A1500

主張しすぎないシンプルデザイン

スマートな印象のパネルと、シンプルな構造による主張しすぎないデザインは、周囲の景観に溶け込みます。

下地に「高耐食性めっき鋼板」**ZAM®**、**SuperDyma** を使用
(亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき鋼板)

素材そのものに強力な防錆力を持たせているため、耐候性にすぐれています。

※「ZAM」、「SuperDyma」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。
 ※「高耐食性めっき鋼板」は、日本産業規格JIS G3323 (溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯) に準拠する材料です。

強度試験(弊社テストによる)

JIS A6518 (ネットフェンス構成部材)、JIS A6513 (金属製格子フェンス及び門扉) の鉛直・水平荷重試験をクリア。パネルは鉛直荷重1470N (150kgf)、水平荷重1470N (150kgf)、支柱は水平荷重490N (50kgf) [H1500mmを超えるものについては588N (60kgf)] で緩み・外れを認めず。

(JIS A6518の規定により重要部材[支柱など]の呼び肉厚は1.6mm以上としています。)

風圧力での設計製品

昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。ただし、個別物件において新基準法 (平成12年6月施行) での設計をご希望の際はその旨お申し付けください。



FM-A800



FM-A 1800忍び返し付(曲型)



FM-A 1500



FM片開き門扉 H1500×W1000

FM-A600~A2200

FM-A600・800

※横線本数は高さにより変わります。

FM-A2000・2200

※横線本数は高さにより変わります。

FM-A900・1000・1200・1500

※横線本数は高さにより変わります。

FM-A1800

■ FMフェンス標準門扉 (本門扉は現地組立です。)

片開き

両開き

※シリンダー錠門扉も製作できます。詳細はカタログ『シリンダー錠対応型門扉』を参照ください。

※FMフェンスとUNフェンス用門扉の接続もできます。

※忍び返し付も製作できます。お問い合わせください。
 ※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。

※詳細については別刷標準図集を参照ください。

カラー

標準色

WH

ホワイト

KB

グレー
ベージュ

DB

ダーク
ブラウン

NEW SK

サテンブラック
(低光沢)

※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。

■ ワイヤメッシュ
線径は芯径を示す。

ネット図

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

| 呼称 | 寸法 | 高さ (mm) (H) | 主 柱 (mm) | | パネル幅 (mm) (h) | 単位質量 (kg/m) | 参考基礎寸法 (mm) |
|----------|----|-------------|-----------------|--------|---------------|-------------|-------------|
| | | | 規格・寸法 | 埋込 (B) | | | |
| FM-A 600 | | 600 | φ 38.1×1.6× 750 | 150 | 570 | 2.9 | 180×180×450 |
| FM-A 800 | | 800 | φ 38.1×1.6× 950 | 150 | 770 | 3.5 | 180×180×450 |
| FM-A 900 | | 900 | φ 38.1×1.6×1050 | 150 | 870 | 3.8 | 180×180×450 |
| FM-A1000 | | 1000 | φ 38.1×1.6×1150 | 150 | 970 | 4.1 | 180×180×450 |
| FM-A1200 | | 1200 | φ 38.1×1.6×1350 | 150 | 1170 | 4.7 | 180×180×450 |
| FM-A1500 | | 1500 | φ 38.1×2.3×1700 | 200 | 1470 | 6.1 | 180×180×450 |
| FM-A1800 | | 1800 | φ 50.8×1.6×2100 | 300 | 1770 | 7.8 | 180×180×450 |
| FM-A2000 | | 2000 | φ 50.8×2.3×2300 | 300 | 1970 | 10.4 | 200×200×450 |
| FM-A2200 | | 2200 | φ 50.8×2.3×2500 | 300 | 2170 | 11.1 | 250×250×450 |

※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※A600~A1500は10cmブロック塀・化粧ブロック塀にも使用できます。(A1500については埋込み寸法200mmを考慮してください。)
 ※A1800, A2000, A2200柱はφ50.8になりますのでご注意ください。
 ※端尺スパン、コーナーおよび勾配については特にご指示ください。(勾配製作可能角度は35度以下です。)
 ※ご使用前に裏表紙の『▲注意』の項目をご覧ください。

! 注意

- 弊社の一般タイプのフェンス製品は、強度について配慮の上、設計・製造しておりますが、原則として平地での囲障としての使用を目的とした製品です。この目的以外での使用は思わぬ事故につながる可能性があります。
- 屋上・高台・その他強風地域、積雪地域等で使用しないでください。
- 当該製品に看板・防風ネット・つた・その他空気抵抗が生じるものを取り付けしないでください。
- 手すり・ガードフェンス・転落防止柵・その他特別な強度を必要とする目的には使用しないでください。
- 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますのでご注意ください。設置場所環境（公害・塩害・水害等）を調査の上、仕様を決定してください。
- 腐食性ガス・海水・砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。
- フェンス柱地際部の処理はモルタル充てんを十分にし、基礎天端に水切り勾配を必ず付けてください。また基礎天端が土中に埋まる場合にはコンクリートで保護し水切り勾配を付けるか、弊社指定の垂鉛テープを巻いて土との接触がないようにしてください。地際部に水が溜まったり、柱が土と直接接触した状態では、めっきや塗装が早期に侵されます。（基礎天端が土中に埋まる場合には強度検討を致しますので弊社までご相談ください。）
- 弊社製品に関するご不明点の確認・ご相談等に関しましては、各地区の弊社営業担当者が対応させていただきます。何なりとお問い合わせください。

[製造品目]

| | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| ユニフェンス | アルフェンス | FMフェンス | ピケットフェンス |
| エバニユーフェンス | 目かくしフェンス | 遮音フェンス | PCフェンス |
| バックネット | 防球窓枠フェンス | S・P防球フェンス | ガードパイプ |
| ガードフェンス | 格子フェンス | カーストップ | メッシュトリス |
| ユニトリス | チェーンフェンス | ガーデンフェンス | ゴミ・ステーション |
| 手すり | 積雪地用フェンス | ストーンガード | 防風防雪柵 |
| 高らんパイプ | 歩鋼板 | 門扉・引戸 | 鉄網設計製品 |

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

お問い合わせ、ご相談は下記までお願いいたします。

| | | | |
|----------------|--------------------|-------------------|--------------------------|
| 本 社 | | ☎(087)833-5151(代) | 〒760-8529 高松市花園町1丁目2番29号 |
| 四国営業部直通 | (第1課) | ☎(087)835-8730 | FAX(087)835-8720 |
| | (第2課) | ☎(087)835-8700 | FAX(087)835-8720 |
| 中国営業部直通 | (第1課) | ☎(087)835-8820 | FAX(087)835-8835 |
| | (第2課) | ☎(087)835-8850 | FAX(087)835-8835 |
| 東 京 支 社 | (第1営業部) | ☎(03)3239-4815 | FAX(03)3239-4720 |
| | (第2営業部) | ☎(03)3239-4818 | FAX(03)3239-4720 |
| | (第3営業部) | ☎(03)3239-4840 | FAX(03)3239-4460 |
| 大 阪 支 店 | (第1営業部) | ☎(06)6244-1910 | FAX(06)6244-1911 |
| | (第2営業部) | ☎(06)6244-1920 | FAX(06)6244-1921 |
| | (第3営業部) | ☎(06)6244-1950 | FAX(06)6244-1951 |
| 九 州 支 店 | (第1営業部) | ☎(092)471-7621 | FAX(092)471-7623 |
| | (第2営業部) | ☎(092)471-7622 | FAX(092)471-7624 |
| 名古屋営業所 | | ☎(052)932-3500 | FAX(052)932-3510 |
| 仙台営業所 | | ☎(022)263-1790 | FAX(022)263-1791 |
| 工 場 | 多度津・西港・丸亀・高南・香東・坂出 | | |